

第2回 久留米市街地周辺内水河川連絡会議

議事次第

1. 開会
2. 出席者紹介
3. 挨拶
4. 議事
 - 前回連絡会議での確認事項
 - 各支川の浸水被害のメカニズム
 - 地域防災力の向上について
 - その他
5. 閉会

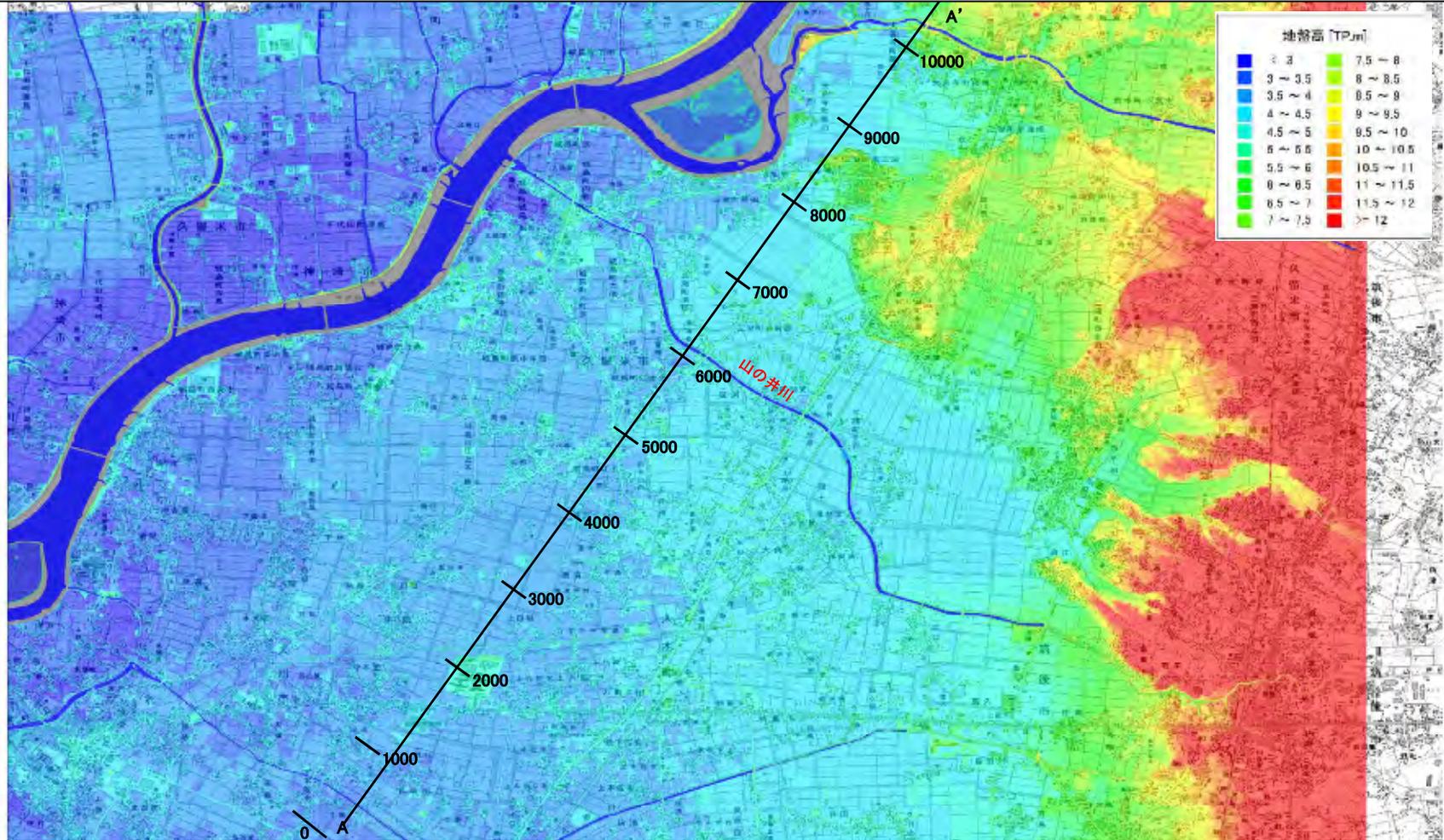
第2回 久留米市街地周辺内水河川連絡会議 出席者名簿

氏名 (敬称略)	所属	役職	備考
小松 利光	九州大学	名誉教授	河川工学、水理学
矢野 真一郎	九州大学大学院	教授	沿岸環境
森 望	久留米市	副市長	
志賀 浩二	久留米市	都市建設部長	
境 公雄	大木町	副町長	
中山 哲志	大刀洗町	副町長	
田尻 英樹	福岡県県土整備部	河川管理課長	代理:山本参事
宮丸 正和	福岡県県土整備部	河川整備課長	代理:浦川係長
篠田 博邦	福岡県久留米県土整備事務所	事務所長	
船橋 昇治	九州地方整備局	筑後川河川事務所長	

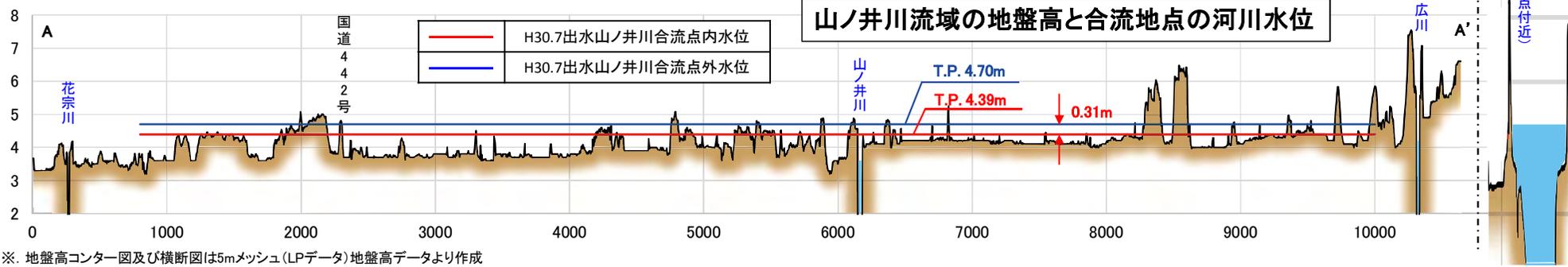
水門が無かった場合の浸水状況の整理

山の井川周辺の地形状況

山の井川の氾濫域は、南西側(筑後川下流方向)に向かって地盤高が低くなっており、山の井川からの氾濫流は筑後川下流方向に向かって拡散する氾濫形態となっている。



山ノ井川流域の地盤高と合流地点の河川水位

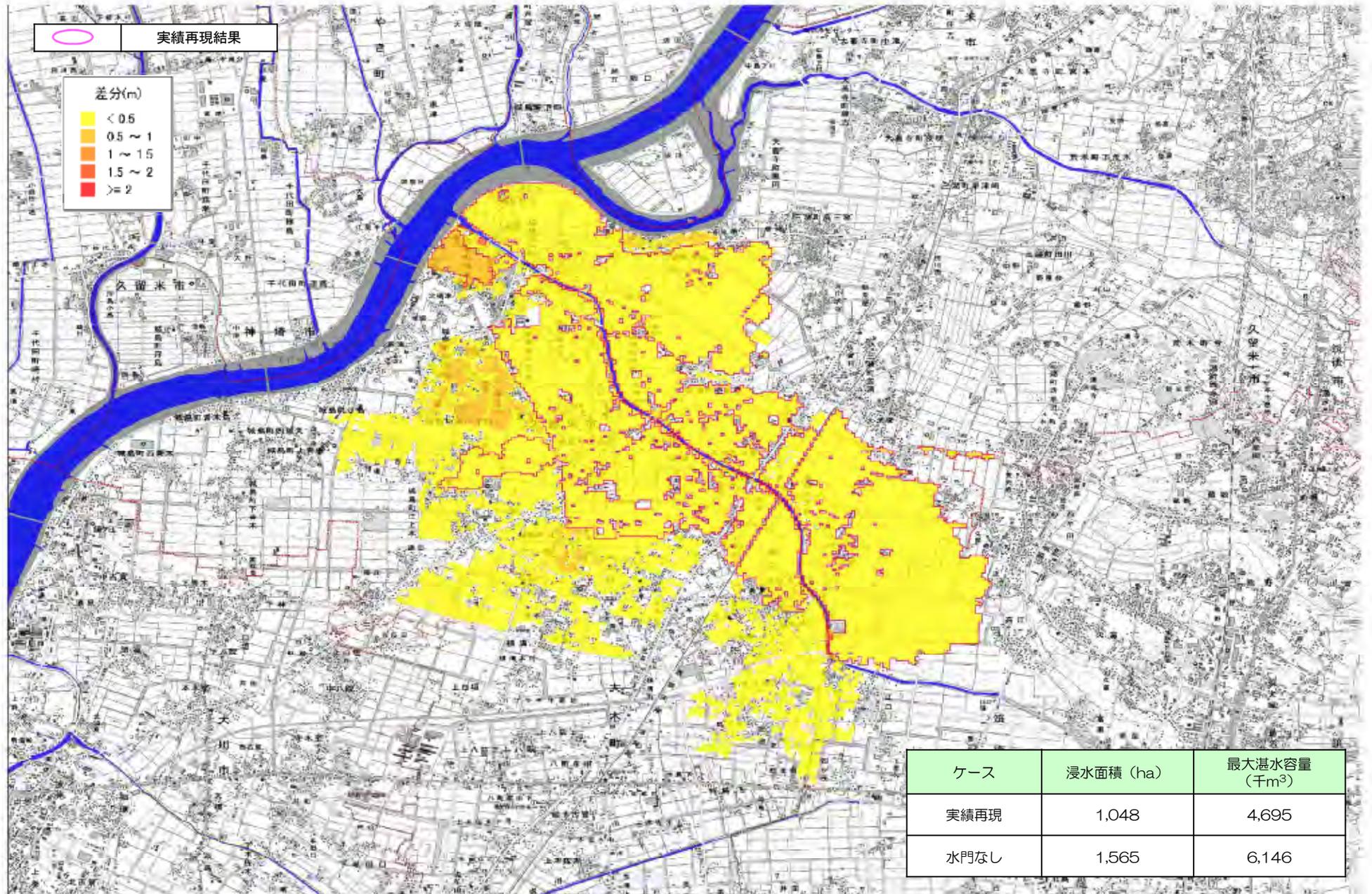


※. 地盤高コンター図及び横断面図は5mメッシュ(LPデータ)地盤高データより作成

筑後川
(山の井川合流点付近)

実績再現結果と水門がなかった場合の氾濫解析結果の比較（山の井川）

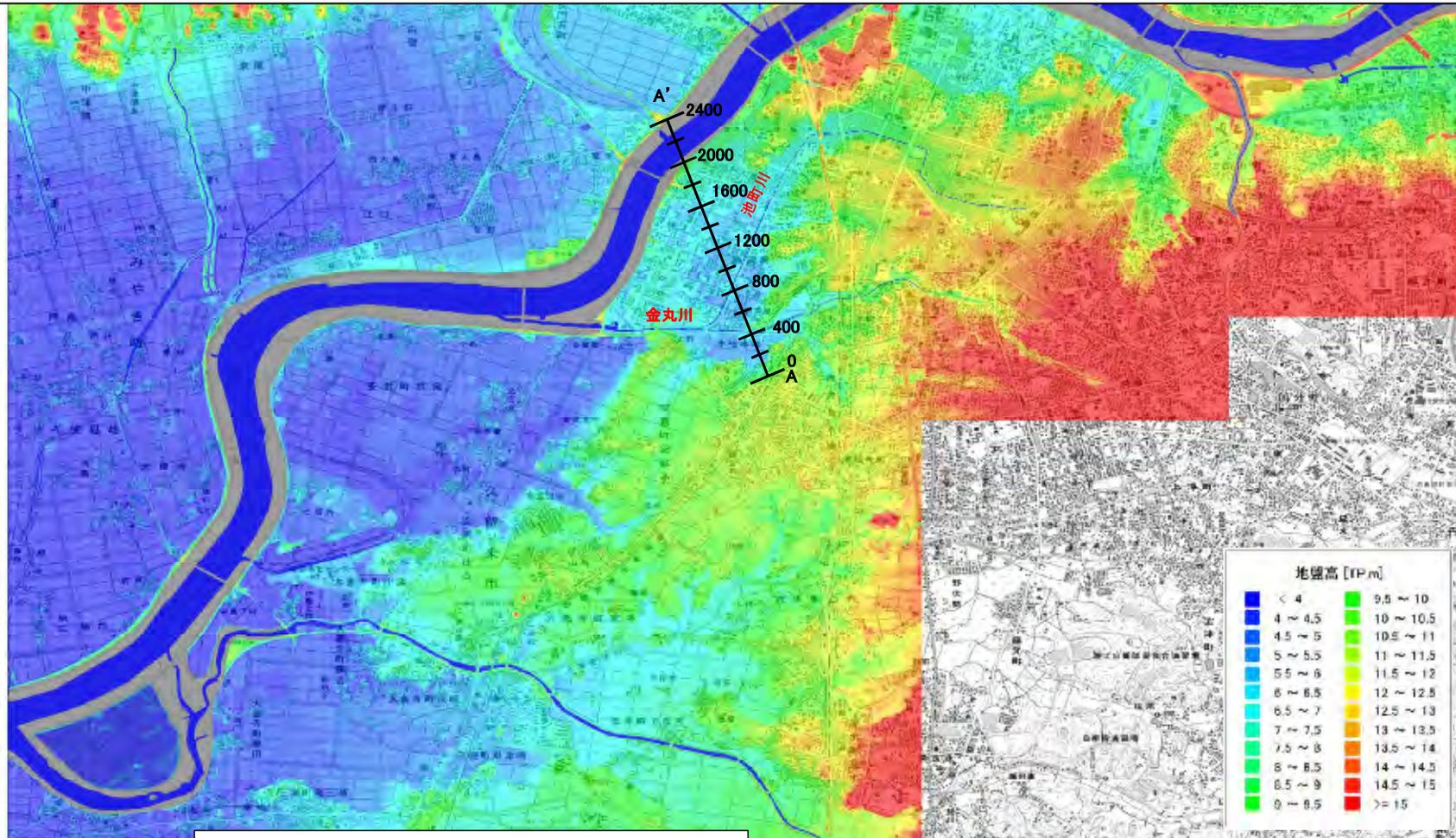
水門がなかった場合と実績再現結果の比較（浸水深の違い）



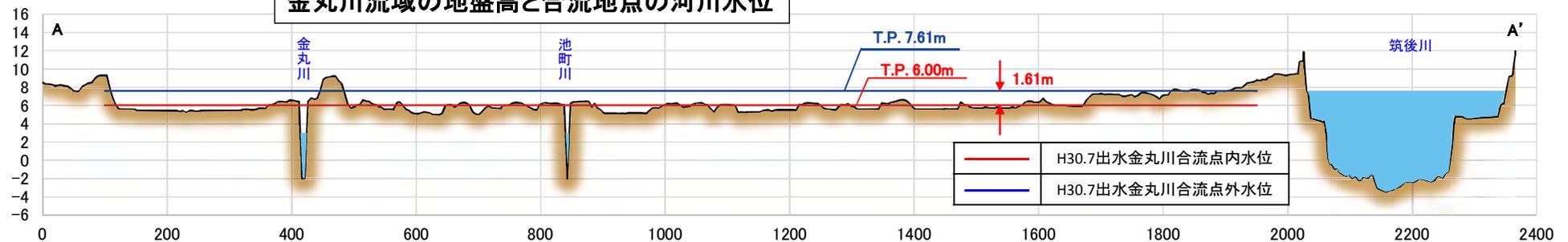
解析結果であるため、実現象とは異なることがあります。

金丸川・池町川周辺の地形状況

金丸川・池町川の氾濫域は、南側(筑後川下流方向)に向かって地盤高が低くなっており、東側の地盤高が高くなっていることから、金丸川の最下流左岸からの氾濫流は下流に拡散し、池町川からの氾濫流は拡散せず、河川周辺に湛水する氾濫形態となっている。



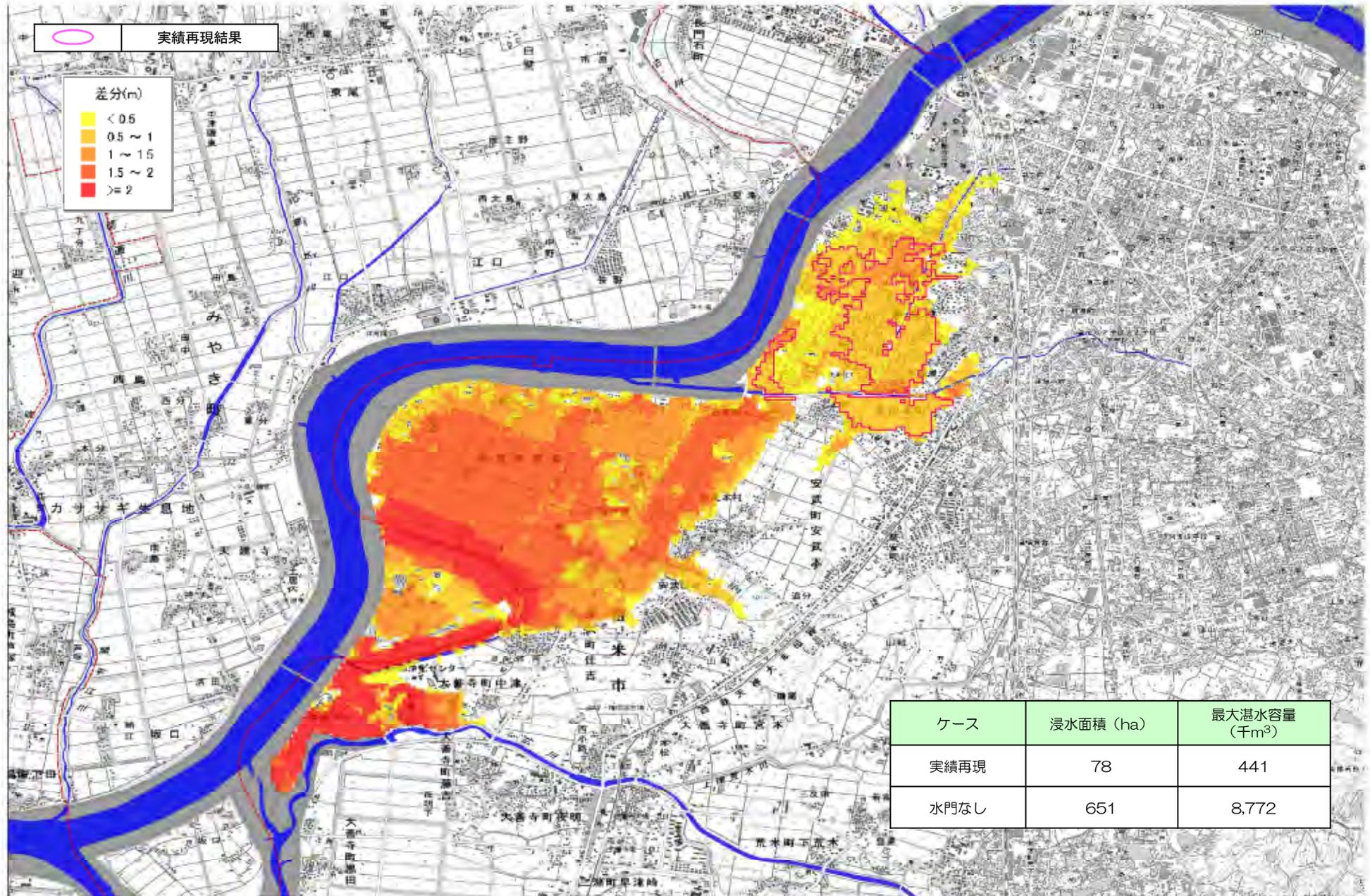
金丸川流域の地盤高と合流地点の河川水位



※. 地盤高コンター図及び横断面は5mメッシュ(LPデータ)地盤高データより作成

実績再現結果と水門がなかった場合の氾濫解析結果の比較（金丸川・池町川）

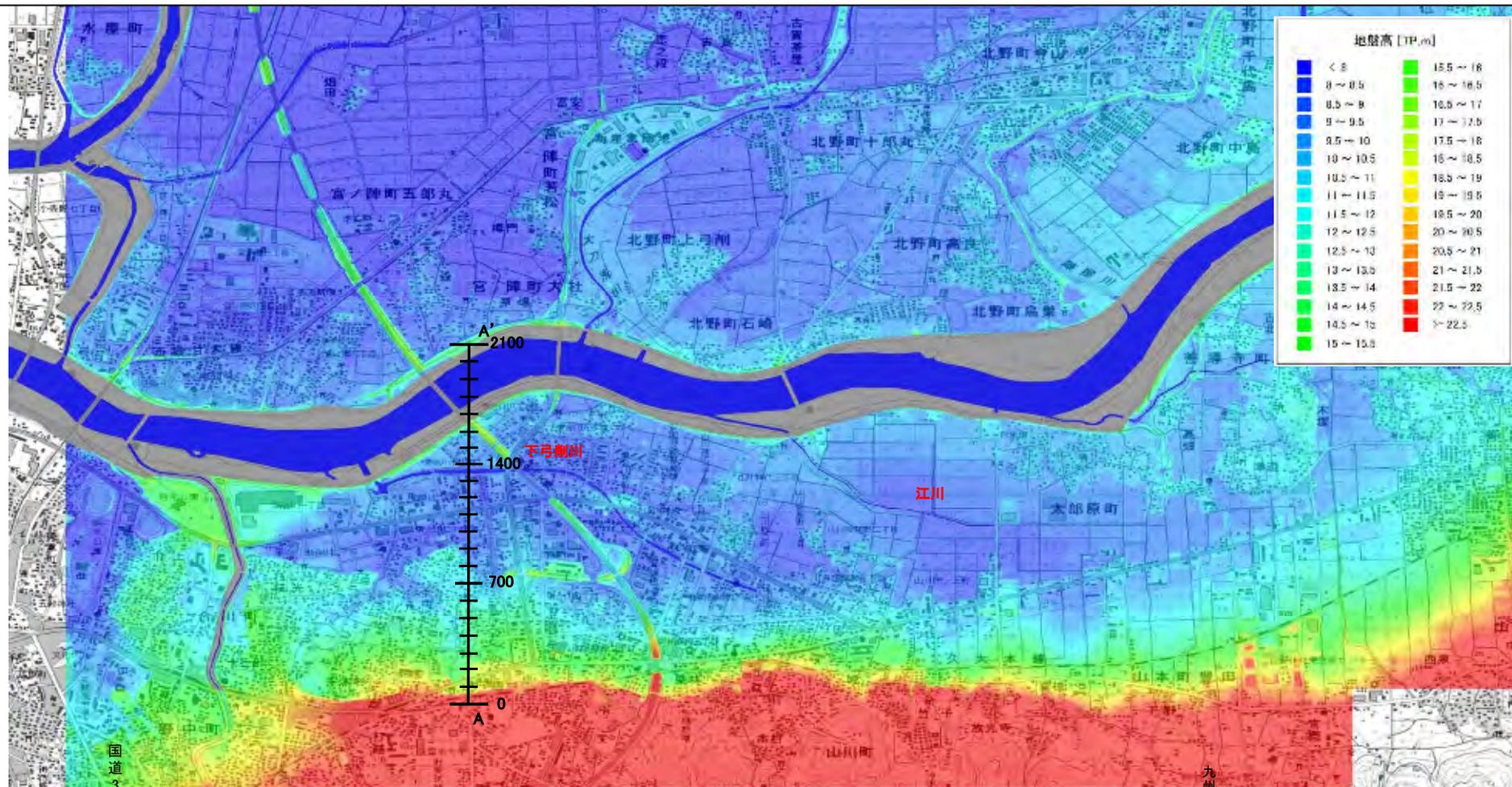
水門がなかった場合と実績再現結果の比較（浸水深の違い）



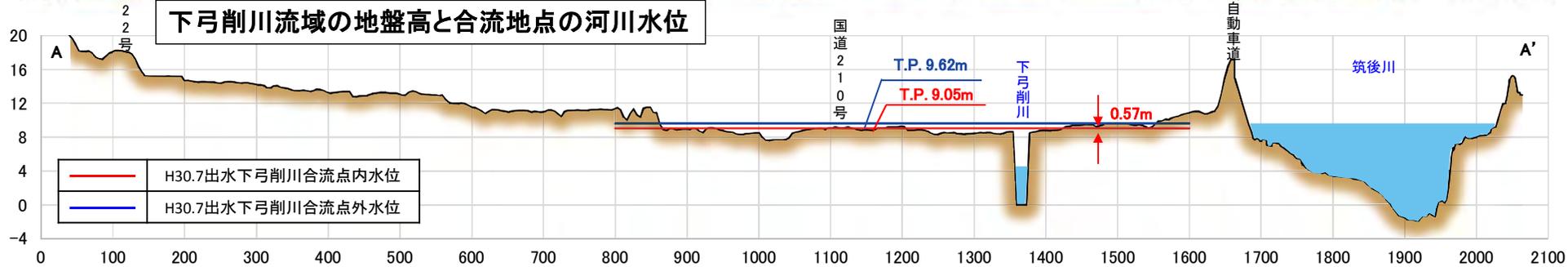
解析結果であるため、実現象とは異なることがあります。

下弓削川・江川周辺の地形状況

下弓削川・江川の氾濫域は、西側(筑後川下流方向)、南側の地盤高が高くなっており、下弓削川・江川からの氾濫流は拡散せず、河川周辺に湛水する氾濫形態となっている。



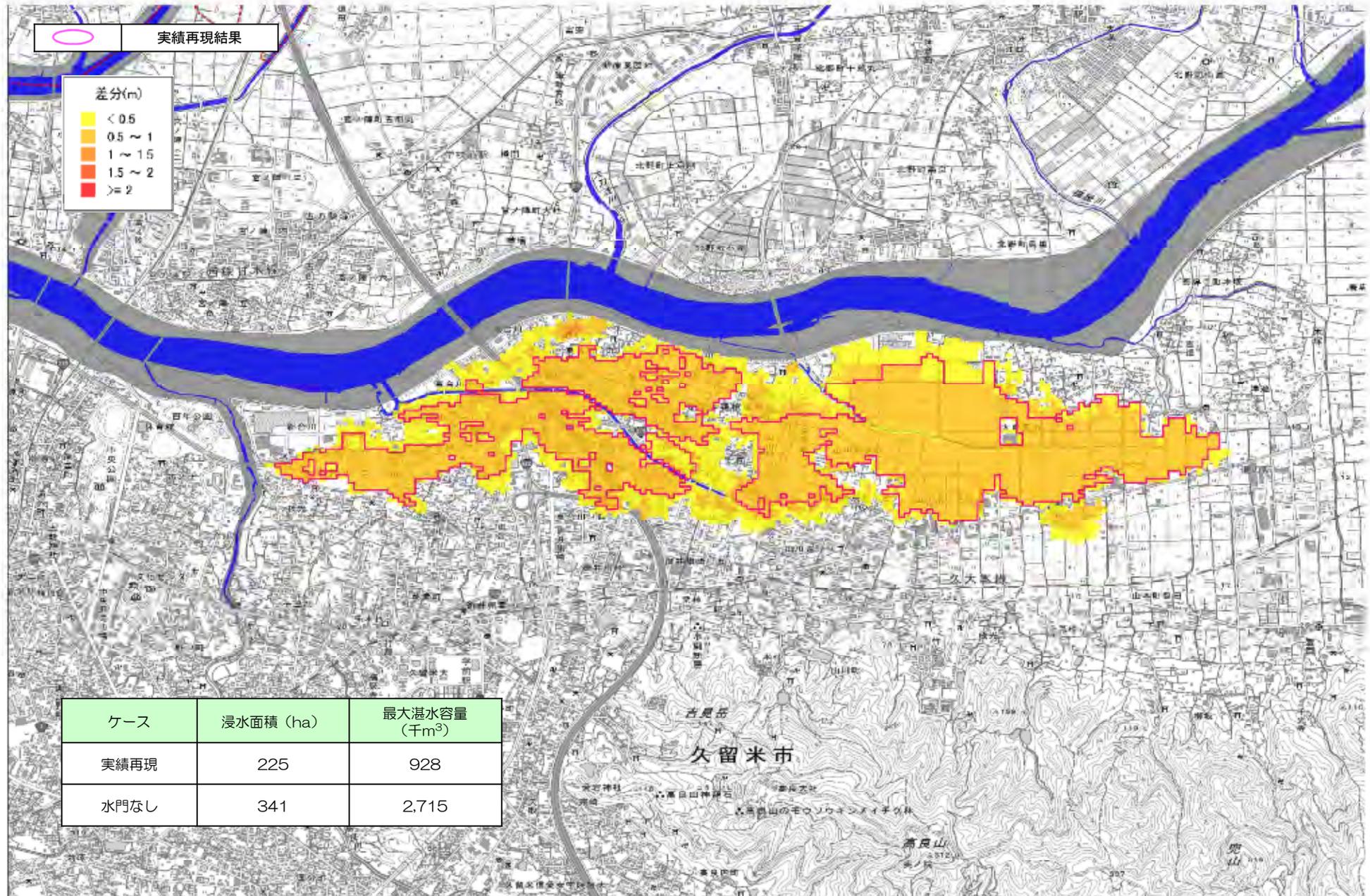
下弓削川流域の地盤高と合流地点の河川水位



※. 地盤高コンター図及び横断面は5mメッシュ(LPデータ)地盤高データより作成

実績再現結果と水門がなかった場合の氾濫解析結果の比較（下弓削川・江川）

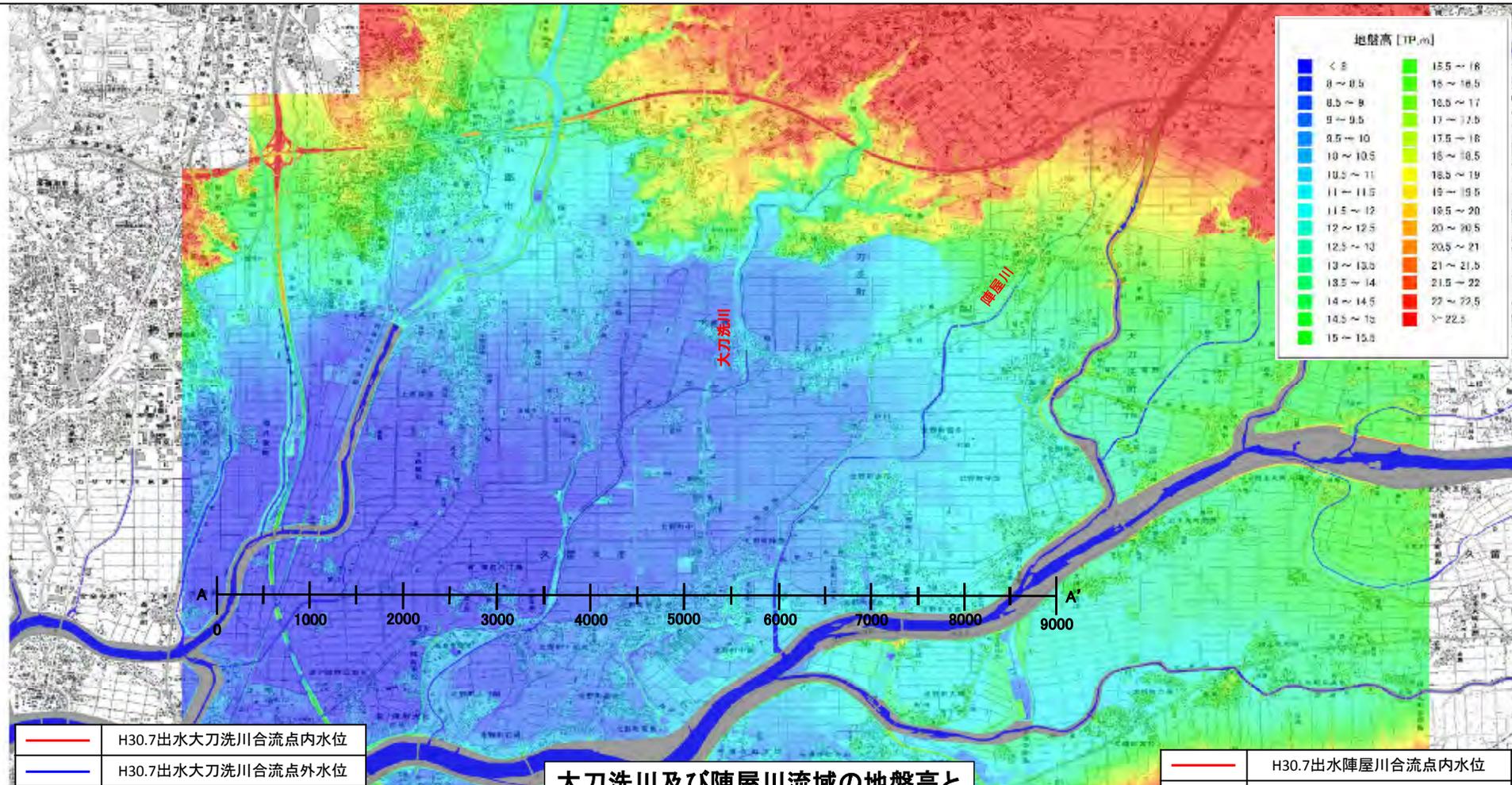
水門がなかった場合と実績再現結果の比較（浸水深の違い）



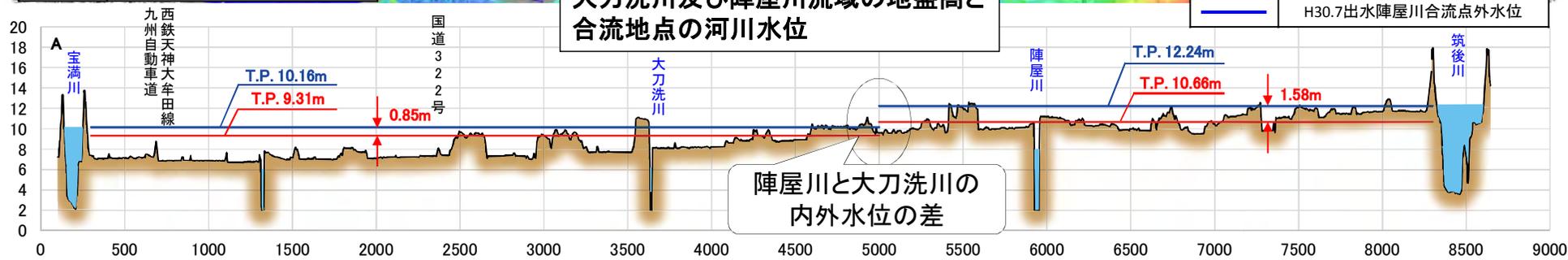
解析結果であるため、実現象とは異なることがあります。

大刀洗川・陣屋川周辺の地形状況

大刀洗川・陣屋川の氾濫域は、西側(筑後川下流方向)に向かって地盤高が低くなっており、大刀洗川・陣屋川からの氾濫流は筑後川下流方向に向かって拡散する氾濫形態となっている。



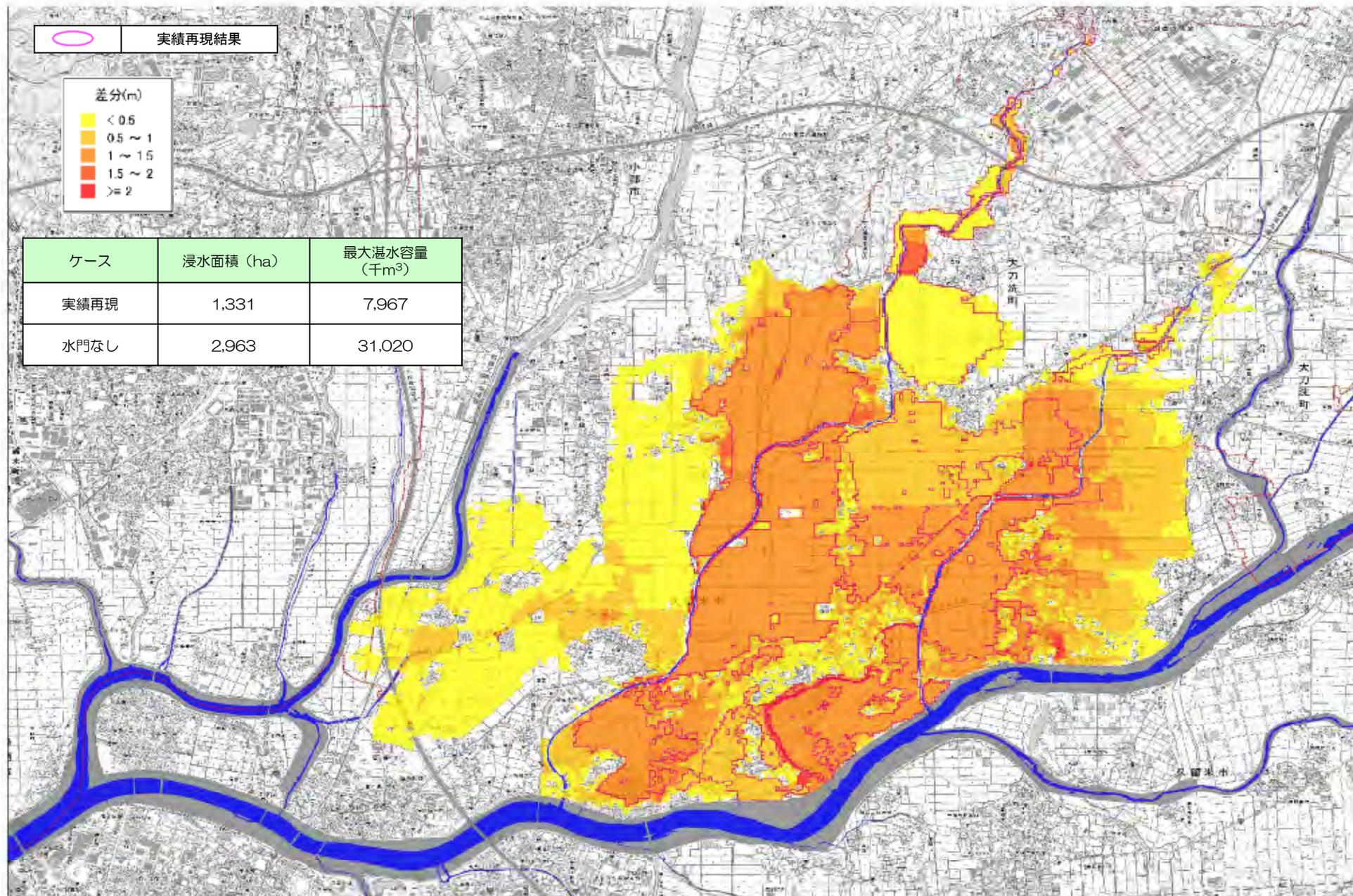
大刀洗川及び陣屋川流域の地盤高と合流地点の河川水位



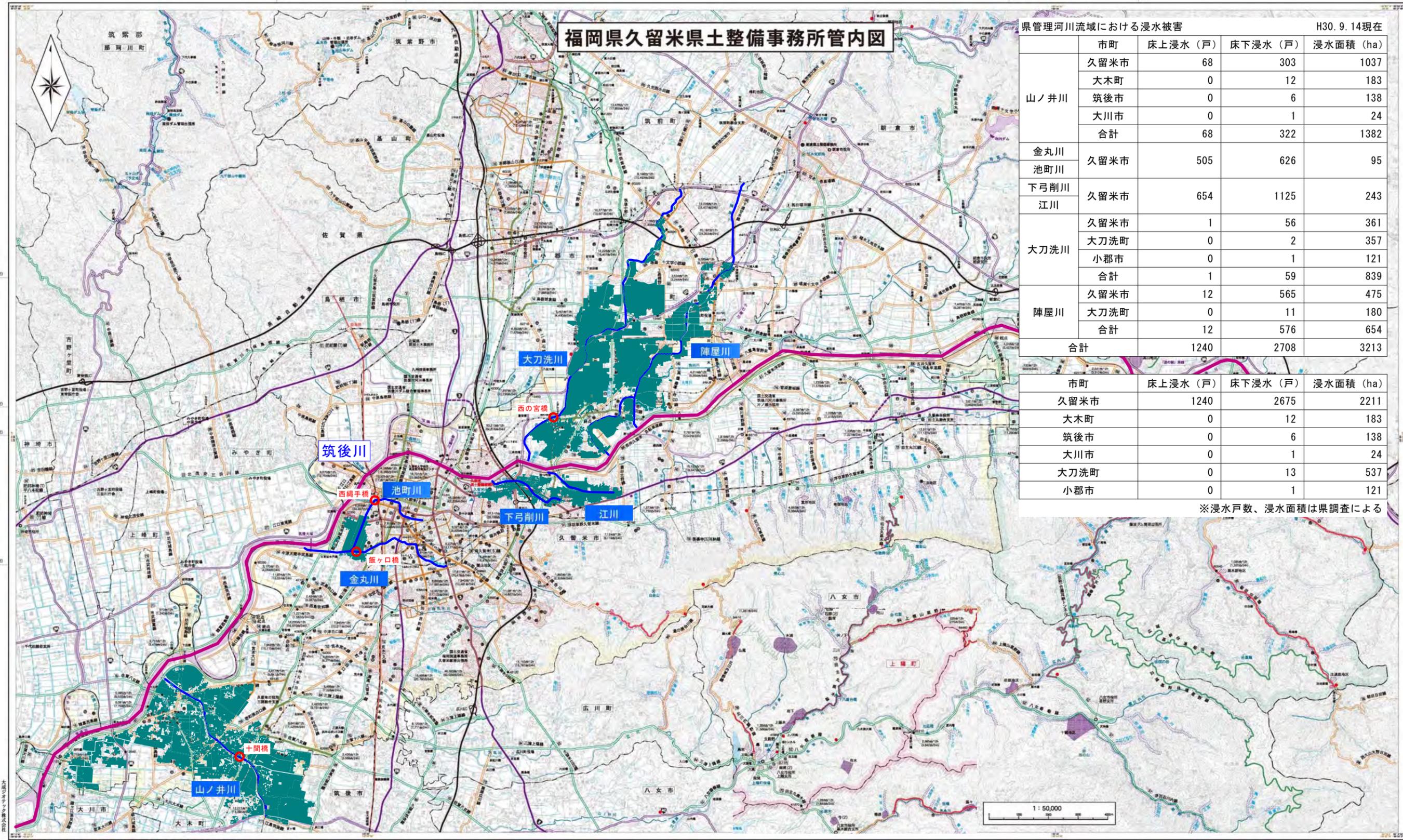
※. 地盤高コンター図及び横断面は5mメッシュ(LPデータ)地盤高データより作成

実績再現結果と水門がなかった場合の氾濫解析結果の比較（大刀洗川・陣屋川）

水門がなかった場合と実績再現結果の比較（浸水深の違い）



解析結果であるため、実現象とは異なることがあります。



○ 水位観測所

※本図面は、山の井川、金丸川・池町川、下弓削川・江川、大刀洗川、陣屋川に関連する浸水範囲を記載したもので、全ての浸水範囲を示したものではありません。

平成30年7月豪雨の際における市町によせられた地域の意見の概要

水門・排水機場について			避難情報について		その他	
情報提供	操作	ハード対策	情報提供の時期	情報提供の手法	ソフト対策	ハード対策
水門の開閉状況の情報提供 (住民のみでなく警察等関連機 関との連携)	排水機場の操作ルールの変更	排水機場の能力向上 (金丸川、下弓削川、江川、大 刀洗川、陣屋川)	避難指示の時期(浸水している 前)	避難情報をHPで掲載してほし い。	浸水箇所の把握	浸水被害が無いような河川改 修等
排水機場の操作状況	水門の操作ルールの変更		情報過多(エリアメールに対す る苦情)	エリアメールの配信地区の検討 (配信地域についての問い合わ せあり)	防災教育の推進 (なぜ浸水するのか分からな い) (なぜ水門を閉めるのか分から ない) (水門の位置が分からない)	民間における浸水対策等
筑後大堰の操作状況				避難広報の方法の検討 (避難広報が分からない)	ハザードマップの工夫	河川の維持浚渫等
夜明けダムの操作状況				広報車の声が聞こえない	支川のハザードマップの作成	堰の運用について (堰が出来たから流れが悪く なった)
				防災ラジオはできないのか	情報の誤認がある。 (わかりやすい情報提供)	
					土嚢の配布	
					マイハザードマップ等の作成 (道路が浸水して避難所に行け ない)	
					避難所の設定の見直し (避難所が冠水する)	
					河川の水位情報の周知方法	
					雨水排水の流域連携	
					関係機関との連携 (久留米市とJAと消防の連携)	
					情報発信の方法 (情報は個人責任で入手するも のではなく、役所の責任におい てすべての人に発信すべき:携 帯を持っていない人もいる)	

1. 総括的方向性

※記載の対応策は山ノ井川など今回久留米市内の6河川に関するの取りまとめである。

		ハード対策		ソフト対策					
		河道計画		洪水時			各支川		平常時
				水門・樋門、排水機場			情報提供		災害リスクの 情報提供
				施設能力	操作ルール	稼働状況	河川水位	監視カメラ	
現状 (H30.7豪雨前)	・大刀洗川と陣屋川において河川改修事業を実施中	陣屋川: 13.6m ³ /s 大刀洗川: 27.2m ³ /s 江川: 6.0m ³ /s 下弓削川: 15.0m ³ /s 金丸川: 30.0m ³ /s 山ノ井川: 23.2m ³ /s	・操作ルールとおり実施				・水門操作の住民への周知規定無し ・国から市へ操作委託	・水位周知河川として大刀洗川を指定(県) ・山ノ井川、金丸川、大刀洗川に水位計設置(県) ・ハザードマップの作成(市)	・池町川に設置(県)
H30.7豪雨時 (氾濫解析による)	・支川や水路などからの溢水を確認	・すべての施設で全台運転を実施 ・故障なし	・操作ルールとおり実施	・長時間にわたり記録的な降雨が降ったことにより浸水被害が発生。 ・本川流出時間と支川流出時間が重なり、浸水範囲が拡大。 ※解析内容の詳細は資料のとおり	・CCTV映像で内水状況を監視(国)	・筑後川並びに大刀洗川において基準に基づき発令。 ・避難率は1%以下	—		
H30.7豪雨による浸水被害を踏まえた課題 (地元意見含む)		・浸水対策		・早期操作への工夫	・稼働情報の周知・共有	・リアルタイム情報の提供と入手	・リアルタイム情報の提供と入手	・適切な行動に繋がる連絡体制、タイミング、情報内容	【自助・共助】 ・内水被害の継承 ・地盤情報の認知 ・転入者への周知
被害軽減対策等 (H30.7豪雨後)	既実施	—	—	・早期操作の試行	・久留米市HPで水門の稼働状況を周知 ・関係機関と情報提供のあり方について協議	・危機管理型水位計を設置(県:9月10日運用開始・山ノ井川・下弓削川) ・簡易監視カメラを設置し、県HPで水位情報を公開	・排水機場のCCTV映像の公開(国 山ノ井、古賀坂、枝光、陣屋川) ・簡易監視カメラを設置(県:9月10日運用開始、山ノ井川・下弓削川)し、県HPでカメラ画像を公開	・関係機関の連絡体制、情報提供体制について協議・検討	・関係機関と情報提供のあり方について協議
	今後の対応	・効果的な浸水対策検討		・操作運用の検討	・稼働状況確認機器の設置 ・広報車による周知	・筑後川版防災ポータルサイトの開設		・避難指示等の情報提供タイムライン並びに判断基準による情報提供の実施	【「水害に強いまちづくり」に向けて】 ・説明会(浸水リスク含む) ・出前講座(防災教育) ・HP、市広報等 ・防災訓練 ・施設効果説明 ・水位周知河川のハザードマップの公表 ・道路冠水注意マップ(内水はん濫)の更新